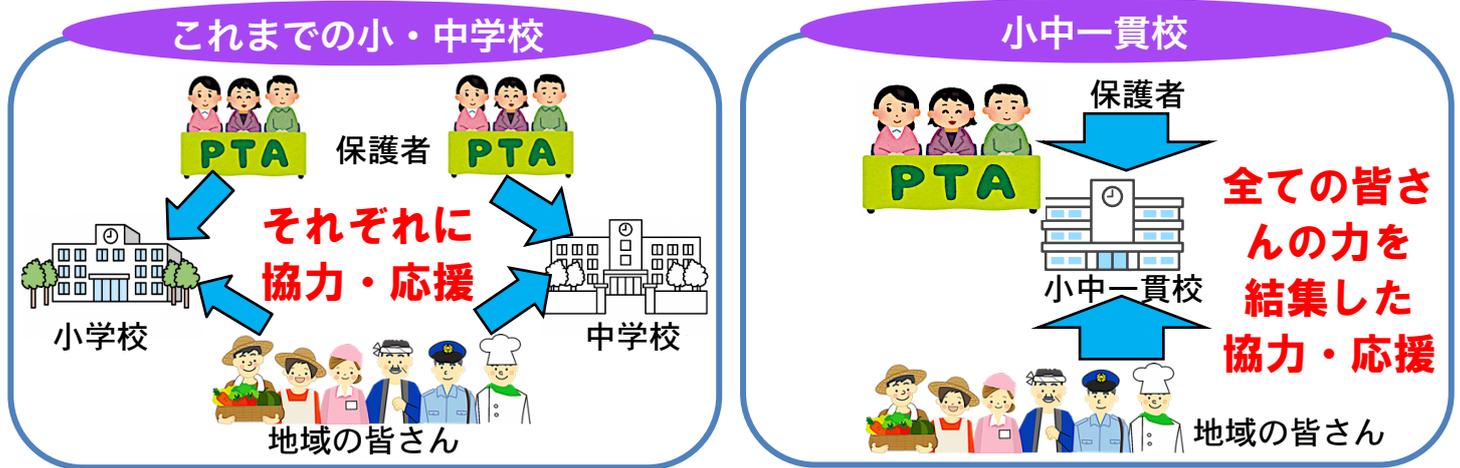




小中一貫教育ってどんな教育？その4

施設一体の小中一貫学校は、その地域の小・中学校を集約した学びの場となっています。これまで小学校と中学校を別々に応援してもらっていた地域や保護者の皆さんの力を一つの学校に集中してもらうことができます。今回は、学校と地域が一体となって運営する学校の形（コミュニティ・スクール）を紹介します。



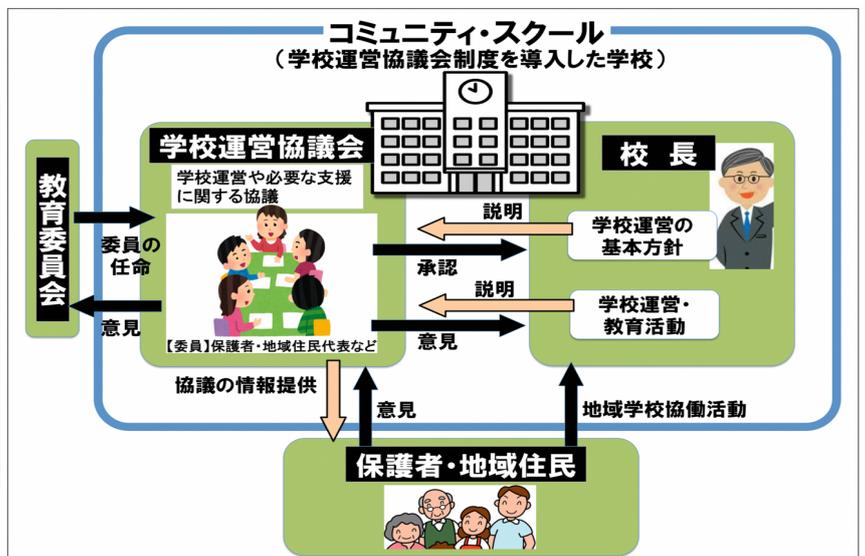
地域と一体となったコミュニティ・スクール

- ◆ 国は、地域とともに子供たちを育てる学校体制を整備するため、平成29年に教育関係の法律を改正し、保護者・地域住民が学校運営に参画する「学校運営協議会」の設置を制度として設けました。※学校運営協議会制度を導入した学校を「コミュニティ・スクール」といいます。（下の図）
- ◆ これからの学校は、変化の激しい社会の動向にしっかりと目を向け、教育活動を展開する必要があります。保護者や地域住民と情報や課題を共有し、「これからの時代を生きる子供たちのために」という共通の目標・ビジョンを持って日々の教育活動を進めていくことが求められます。

開校以来、コミュニティ・スクールとして地域とともにある学校づくりを目指しています。

9年間を通して、様々な場面で地域の方に関わっていただくことで授業が充実し、学習意欲の向上にもつながっています。

（栃木県小山市立絹義務教育学校の実践報告より）



★ご質問・ご意見は、東伊豆町ホームページの【お問い合わせ】か
東伊豆町教育委員会【電話】0557-95-6207 【〒】413-0411 東伊豆町稲取3354
【メール】kyouiku@town.higashiizu.lg.jp お願いします。

